

## 非核・平和宣言都市として ウクライナからの避難民学生を支援

本市にある日本経済大学が全国に先駆けてウクライナからの避難民の学生を約70人受け入れると表明されました。市としてこの趣旨に賛同し、避難民の学生の皆様が安心して暮らせるよう支援するため、第一弾としてふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」を通し、ガバメントクラウドファンディング®による義援金を受け付けることをいち早く決め、3月23日(水)に日本経済大学との共同説明会を実施しました。

この仕組みは、ふるさと納税制度を活用して行うもので、自治体が抱える問題解決のため、寄附金の使い道をより具体的にプロジェクト化し、その活動に共感した方から寄附を募るものです。

義援金は募集期間終了後に、日本経済大学を通じて、避難民の学生の生活費などに充てていただく予定です。6月末まで受け付けていますので、引き続き皆様のあたたかいご支援ご協力をお願いします。



ふるさとチョイスガバメントクラウドファンディング® ホームページ



説明会の様子



## 子育て支援施策 妊産婦の移動支援「うめっこタクシー」スタート

3月24日(木)、株式会社Mobility Technologiesと協定を締結し、同社が運用する「タクシーアプリGO」を使用した妊産婦のためのタクシー利用支援事業（通称うめっこタクシー）を全国で先駆けて社会実験として行います。

この事業は、本市で母子健康手帳を交付する妊産婦の方へアプリ内で利用可能なクーポン5千円を提供することで、妊娠中や子育て中の移動の負担軽減に役立ててもらおうとするものです。

本年4月1日～令和5年3月31日までの1年間で効果検証を行い、今後の子育て支援策の向上につなげていきます。



協定締結式の様子

## 友好都市との交流 ふるさと・夢プロジェクト

本市の市立中学校では「だざいふ・ふるさと学習」（郷土学習）の総まとめとして、太宰府市の歴史や文化とつながりのある友好都市多賀城市の中学生と交流を行い両市の関係を知るとともに、広い視野から「ふるさと太宰府」を考える「ふるさと・夢プロジェクト」を実施しています。

2月～3月に太宰府市と多賀城市の中学2年生を中心にそれぞれがペアとなりオンラインで交流しました。生徒たちは、ふるさとの歴史や学校紹介、生徒会活動の取り組みをクイズや動画にするなど工夫を凝らして発表しました。また、質疑応答では活発な意見のやり取りが見られ、真剣に取り組む姿が印象的でした。

コロナ禍によりオンラインでの交流となりましたが、生徒たちは「ふるさと太宰府」についてよく考え、改めてその良さを発見できました。



学院中学校



太宰府中学校



3月16日(水)に福島県沖で発生した地震の影響により、太宰府西中学校と多賀城市立第二中学校の交流会は中止となりました。



太宰府東中学校

# 私のだざいふ

九州電力株式会社 執行役員福岡支店長

あべ しんいちろう  
安部 進一郎さん



九州電力の安部でございます。

太宰府市さまとは、一昨年の11月に地域の課題解決や持続可能なまちづくりのための包括連携協定を締結させていただきました。

地域の皆さまに電気をお届けする地場企業である九州電力グループにとって、地域の発展なくして我々の発展はありえないと考えており、地域の皆さまと一緒に地域の活性化に取り組んでいきたいと考えています。

私にとって「太宰府」は、令和発祥の古の都であると共に、朝鮮半島における白村江の戦いでの敗戦後、大陸からの防衛のために作られた水城や大野城なども含めた防衛網の最前線の役割、菅原道真公を祀った太宰府天満宮など1300年以上の歴史と文化を有する、常に興味が尽きない存在です。

我々九電グループは、そのような太宰府市さまの更なる飛躍と発展のために、これからも地域の皆さまと力を合わせ、知恵を絞り、汗をかいていきたいと考えておりますので、今後ともお力添えのほどよろしくお願いいたします。

# Contents

目次  
2022年5月1日号

### 特集

私のだざいふ、市政ニュース、トピックス ..... 2～5

令和4年度当初予算 ..... 6～7

令和4年度主な事業 ..... 8～9

施政方針事業に関する戦略別予算 ..... 10

新型コロナウイルスワクチンの接種について ..... 11

5月は消費者月間です ..... 12～13

すこやか運動教室開催のお知らせ ..... 14

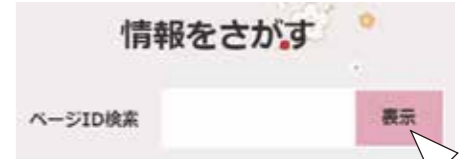
市からのお知らせ ..... 15～20

連載 ..... 21～29

なんでも情報コーナー ..... 30～39

太宰府の文化財 ..... 40

記事ページをホームページで検索!



広報だざいふの記事にある最大7けたのページIDを太宰府市ホームページトップの検索画面に入力すると、同じコンテンツの記事ページをさがすことができます。

# 市政ニュース

## 人材育成・登用 職員辞令交付式が行われました

年度の節目として、本市の退職者辞令交付式を3月31日(木)、新規採用、人事交流職員、異動職員への辞令交付式を4月1日(金)にそれぞれ行い、永年市政へ貢献してくれた退職者14人、新たな意欲で臨む新規採用職員14人と異動職員が辞令を受け取りました。また、恒例の新人による宣誓と市長による訓示が行われました。



退職者辞令交付式の様子



宣誓する新規採用職員

## 市民の安心安全 親子向け防災学習ワークショップ

市民の安心安全を期し、3月20日(日)に嘉穂無線ホールディングス株式会社の協力のもと、グッデイ太宰府店において、市内在住の親子20人が参加して防災学習ワークショップを開催しました。

参加者は店舗内を自由に探索し、地震や風水害で活用できる日用品を探してもらうなど、親子が連携して防災知識や日頃からの備えの大切さについて学び、楠田市長も状況を視察しました。



ワークショップの様子



## STEAM先進教育の実現 子ども大学 だざいふ・ふくおか本開校!

「子ども大学 だざいふ・ふくおか」(吉澤みか理事長)が、3月20日(日)に筑紫女学園大学において本開校を迎えました。本開校にあたって、名誉学長である楠田市長も出席のもと、3人の専門家講師が、参加した子どもたちに講義を行いました。それぞれの分野で活躍される講師のお話子どもたちも熱心に聞き入っていました。



開校式の様子

### 「子ども大学」とは

地域の大学で、学問・芸術・時事問題・表現活動などいろいろな分野のエキスパートにアクティブラーニングで授業をしていただき、子どもたちの学びへの意欲、将来への展望や職業観などを育てていきます。

また、同伴する保護者、関係者とともに学び、その体験を通していろいろなものへの関心を高め、家庭でのコミュニケーションをはかる一つの手立てともなる取り組みです。

# まちのトピックス

## 子どもたちに夢を 道下選手講演会が開催されました

3月3日(木)、太宰府市青少年育成市民の会(小柳道枝会長)主催による、東京パラリンピック陸上女子マラソン金メダリストの道下美里選手の講演会が、太宰府西小学校で開催されました。

これは、コロナ禍で子どもたちの体験や学ぶ機会が少なくなり、本来の明るさや好奇心などがなくなっていくことが心配されるなか、さまざまな困難を持ち前の笑顔と明るさで乗り越え、見事に偉業を成しえた道下選手の力が必要であるとの思いから今回の開催に至りました。

道下選手は、「夢に向かってチャレンジしよう!」をテーマに、実物の金メダルを初めて見る児童たちの前で、夢をかなえるために大切なのは「目標をもつこと」「あきらめないこと」「感謝の心をもつこと」だと話しました。

道下選手のお話を聞いた子どもたちの成長とともに、街中に笑顔がいっぱいあふれることを願っています。



講演会の様子

## 産官学連携 西鉄太宰府駅前おもてなし絵画第二弾が完成

3月29日(火)、西日本シティ銀行太宰府支店2階に設置している「おもてなし絵画」がリニューアルしました。筑紫台高校と西日本シティ銀行、本市が「太宰府を盛り上げよう」と取り組む連携事業の第二弾で、同校の美術部が制作。本市PRキャラクターなどが描かれた躍動感あるデザインで、西鉄太宰府駅を降り立つ観光客を迎えます。



絵画を制作、設置した筑紫台高校の生徒

## 令和発祥の都 太宰府「梅」プロジェクト



### 梅植樹セレモニー・銘板除幕式

3月24日(木)、「令和発祥の都太宰府『梅』プロジェクト」太宰府梅園構想の第一弾として、大宰府政庁跡周辺の史跡地に南高梅と白加賀という品種の梅の木を30本植栽し、植樹セレモニーを行いました。

あわせて、昨年実施した本プロジェクトのクラウドファンディングで寄附をいただいた皆様へ感謝の意を込めて、一人一人の名前を記した銘板の除幕式を行いました。

植栽した場所は、元号「令和」で注目を浴びた大宰府政庁跡坂本八幡宮の隣地で、毎年早春にはきれいな梅の花が咲きます。いたるところで梅を愛で、収穫し、グルメやスイーツを楽しめる「真の梅のまち・太宰府」を目指していきます。



植栽した梅の木と銘板

### 大宰府政庁跡の梅を使用した「うめんたい」発表会

「令和発祥の都太宰府『梅』プロジェクト」に賛同した株式会社山口油屋福太郎が、大宰府政庁跡の梅を使用して製造した「うめんたい」の完成を3月30日(水)、太宰府市役所で発表しました。

産地や育ちにこだわり、より良い物だけを使って作られた福太郎の明太子と元号令和の由縁となった梅花の宴で、お伴旅人も愛でたであろう大宰府政庁跡の梅が奇跡のコラボレーションを果たしました。

田中洋之代表取締役社長は、楠田市長から直接提案もあり、「梅の味と明太子の味を調和させるのに苦労しましたが、最終的には両方の風味が楽しめる新たな名物となりました」と商品を紹介しました。

この「うめんたい」は、太宰府市のふるさと納税の返礼品としても、提供される予定です。



新商品の「うめんたい」



製造に携わったメンバーと発表会にて

## 市民の活躍 「太宰府スイーツ総選挙」グランプリ受賞者が楠田市長を表敬しました

1月15日~2月28日に市内17店舗が参加して行われた「太宰府スイーツ総選挙」(主催:太宰府への誘客・周遊イベント実行委員会)でグランプリを受賞したチーズケーキ研究所の藤井直哉さんが太宰府への誘客・周遊イベント実行委員長の不老安正さんとともに楠田市長にグランプリ受賞を報告しました。

このイベントはお菓子の神様が祀られている「中島神社」が所在するなど、お菓子との縁が深い太宰府において、お菓子をテーマに太宰府への誘客・周遊を促すために行われました。



受賞報告の様子